

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人内の一部署として法人理念を大切にしながらも、更に地域密着型サービスの意義をふまえたグループホーム独自の理念として地域との交流や地域生活の継続の意義を加味し取り組む必要がある。	馴染みの関係が維持できるように支援し、地域の一員として地域の繁栄に貢献し好感と信頼を得る。	地域の行事への参加や「井戸端くらぶ」(地域のサロン)や「ゆる体操」(地域の公民館活動)など馴染みの場所や関係の継続を支援する。「介護情報の提供」や「介護よろず相談」「職場の提供」や地域交流スペースの活用など地域の繁栄に貢献する。	12ヶ月
2	13	同一建物内の法人全体の避難訓練を実施しているが、4階グループホームはバルコニーや非常階段・避難用滑り台など複数の避難経路はあるが実際に利用者が滑り台を利用しての訓練はされておらず、利用者が参加しての様々な想定での避難訓練を実施する必要がある。	災害時に安全に避難できるように利用者と一緒に様々な訓練を行う。	昼間・夜間想定での火事、地震、台風など様々な災害を想定して安全に避難する方法を利用者と一緒に訓練する。毎月月末に訓練する。水消火器を使用し消防署の指導を受ける。利用者の家族、地域の方にも参加して頂き避難の援助をして頂けるように練習する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。